

第2回インフォメーションミーティング

2019年3月期決算の状況と 第1次中期経営計画の進捗について

2019年6月12日



目次

I 株式会社三十三フィナンシャルグループについて

	ページ
グループの概要	… 1
合併について	… 2

II 2019年3月期決算の状況について

	ページ
2019年3月決算サマリー	… 4
資金利益	… 5
貸出金残高(地域別)	… 6
預金等残高(地域別)	… 7
有価証券残高	… 8
有価証券評価損益	… 9
非金利収益	… 10
ソリューション手数料	… 11
経費	… 12
信用コスト・金融再生法開示債権	… 13
自己資本比率・配当政策	… 14
2020年3月計画	… 15

III 第1次中期経営計画の進捗について

	ページ
持続的発展に向けたビジネスモデル	… 17
中期経営計画の概要	… 18
シナジー効果の早期実現	… 19
リレーシヨンの構築	… 20
ソリューションの提供～法人戦略～	… 21
ソリューションの提供～個人戦略～	… 23
効率化・最適化	… 24
地方創生・地域活性化	… 25

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述はリスクと不確実性を内包しており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は経営環境に関する前提条件変化等に伴い目標対比変化することにご留意下さい。本資料は、当社に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【本件に関するご照会先】

三十三フィナンシャルグループ 経営企画部 石原

TEL 059-354-7172 FAX 059-355-8225

E-mail koho@miebank.co.jp



I 三十三フィナンシャルグループについて

グループの概要



三十三フィナンシャルグループ San ju San Financial Group

経営理念

地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、
地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。

子銀行の概要

(2019年3月末現在)

	 33FG (2行合算)	 三重銀行	 第三銀行
設立年月日	-	1895年11月15日	1927年7月24日
本店所在地	-	三重県四日市市西新地7番8号	三重県松阪市京町510番
資本金	-	152億円	374億円
総資産	40,457億円	20,114億円	20,343億円
預金等残高	36,255億円(※36位相当)	17,931億円(※69位)	18,323億円(※66位)
貸出金残高	27,200億円(※37位相当)	13,976億円(※68位)	13,223億円(※69位)
従業員数	2,606名	1,260名	1,346名
店舗数	171店舗	75店舗	96店舗

※カッコ内の順位については、地銀・第二地銀104行中の順位(2018/9末基準)

合併について

合併後の銀行



合併の目的

両行の「強み」を完全に融合し、金融仲介機能を高度化させることで、より一層地域経済に貢献できる「質の高い地域ナンバー1銀行」を目指すとともに、合併シナジー効果を最大限に発揮し、経営の効率化を図ることで、強固な経営基盤を構築することを目的としています。

合併の要旨

■ 合併効力発生日
2021年5月1日

■ 商号
株式会社三十三銀行

■ 本店所在地
三重県四日市市西新地7番8号

■ 資本金
374億円

合併に向けた対応

- 2019年1月に関係当局の許認可の取得等を前提として、子銀行2行の合併を公表
- 同年月に合併準備対応の体制整備として「合併推進委員会」を設置
- 2019年6月～10月にかけて、両行で店番・店名が重複する店舗の店番・店名を変更し、重複を解消
- 2021年5月に、合併と同時にシステム統合をし、「三十三銀行」として新たにスタート



Ⅱ 2019年3月期決算の状況について

2019年3月決算サマリー

■ 三重銀行と第三銀行の2行単体の単純合算(以下「2行合算」)

(億円)

	2019/3期 2行合算	前期比	三重	前期比	第三	前期比
コア業務粗利益	484	▲ 2	230	▲ 4	253	▲ 2
資金利益	379	▲ 6	168	▲ 4	210	▲ 11
うち預貸金利息収支	277	▲ 8	130	▲ 1	146	▲ 6
うち有価証券利息配当金	102	0	39	▲ 4	63	▲ 4
非金利収益	105	8	62	▲ 0	43	8
経費(▲)	376	▲ 8	177	▲ 2	198	▲ 6
コア業務純益	108	10	53	6	54	3
有価証券関係損益	23	2	20	15	3	▲ 13
国債等債券損益	5	4	0	▲ 0	5	4
株式等関係損益	18	▲ 1	20	16	▲ 1	▲ 18
与信費用(▲)	31	14	23	22	7	▲ 7
経常利益	101	▲ 0	50	2	50	▲ 3
当期純利益	79	0	36	1	42	▲ 0

2019年3月期

(2行合算)

コア業務粗利益

2億円増

コア業務純益

10億円増

経常利益

前期並

当期純利益

前期並

■ FG連結

(億円)

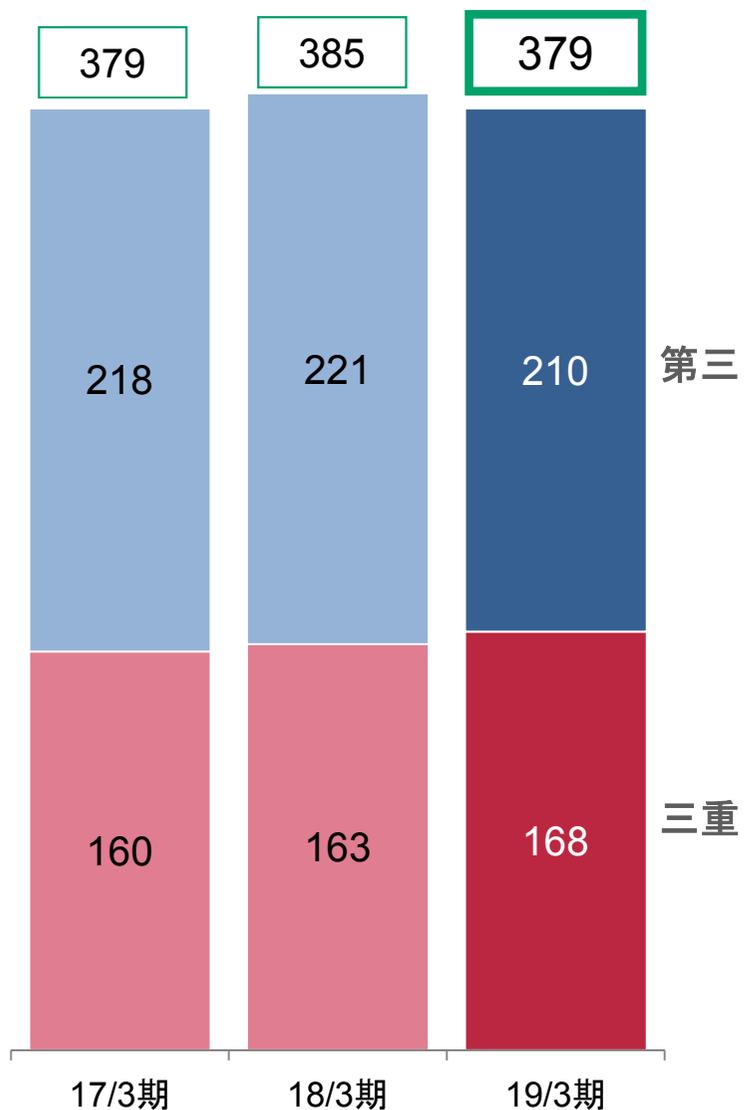
	2019/3期	前期比
経常利益	77	-
親会社株主に帰属する 当期純利益(※)	522	-

(※)うち負ののれん発生益463億円

資金利益

(億円)

■ 2行合算



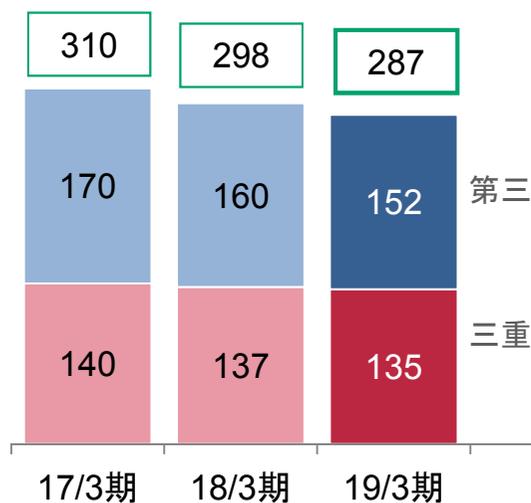
資金利益

6億円減
(2行合算)

貸出金利回り



(億円)
貸出金利息



有価証券利回り



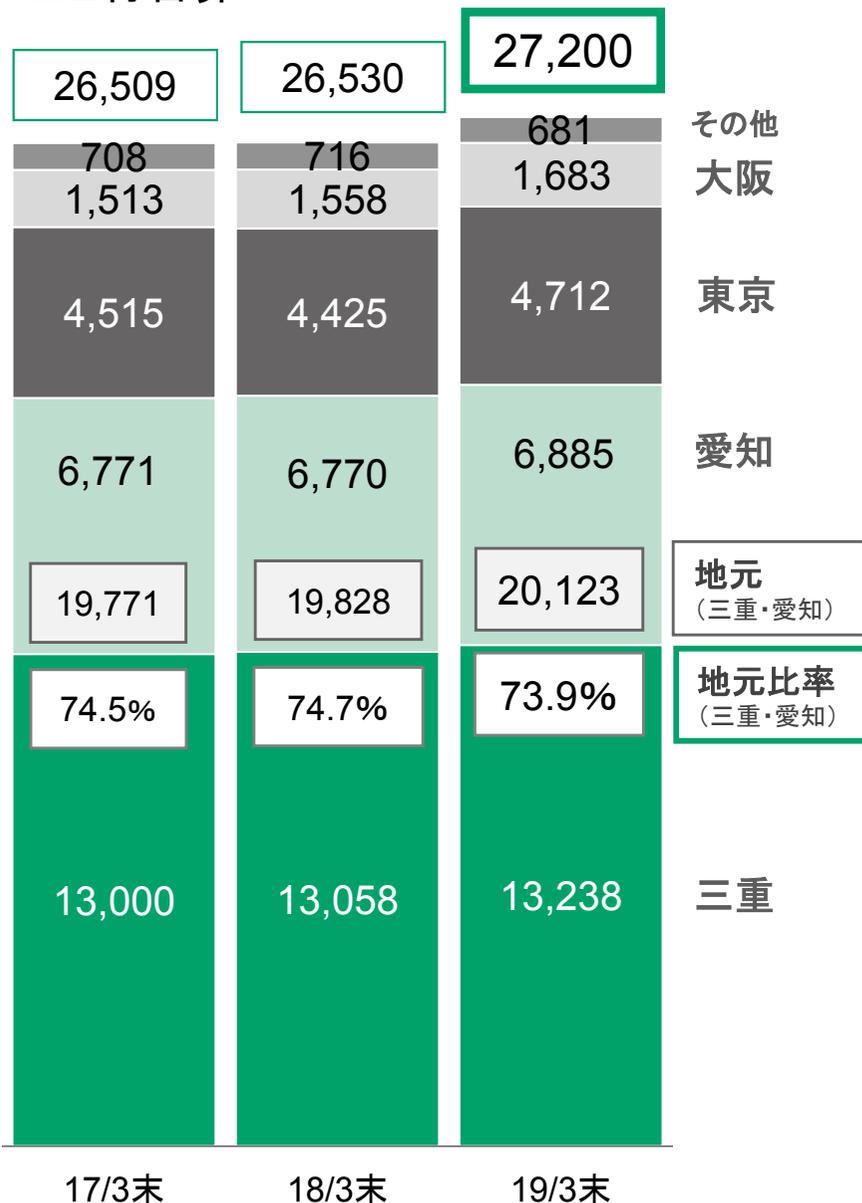
有価証券利息配当金



貸出金残高(地域別)

(億円)

■ 2行合算



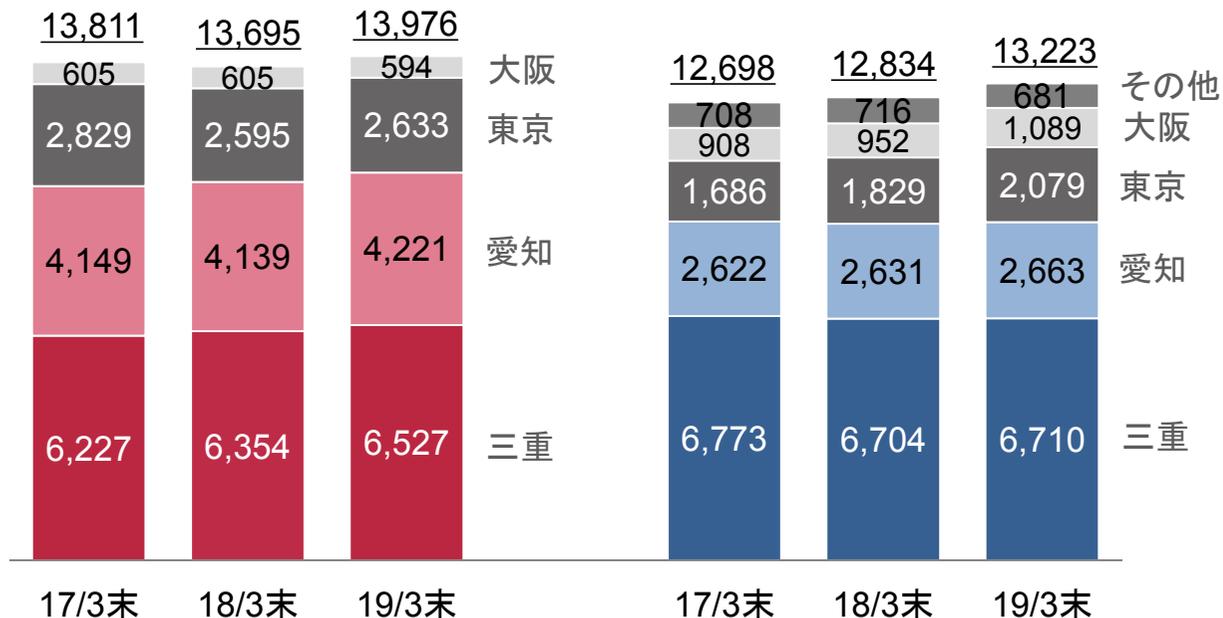
その他は、岐阜県、奈良県、和歌山県を指しています。

貸出金残高 670億円増
地元三重・愛知 293億円増
地元貸出比率 73.9%
 (2行合算)

(億円)

■ 三重銀行

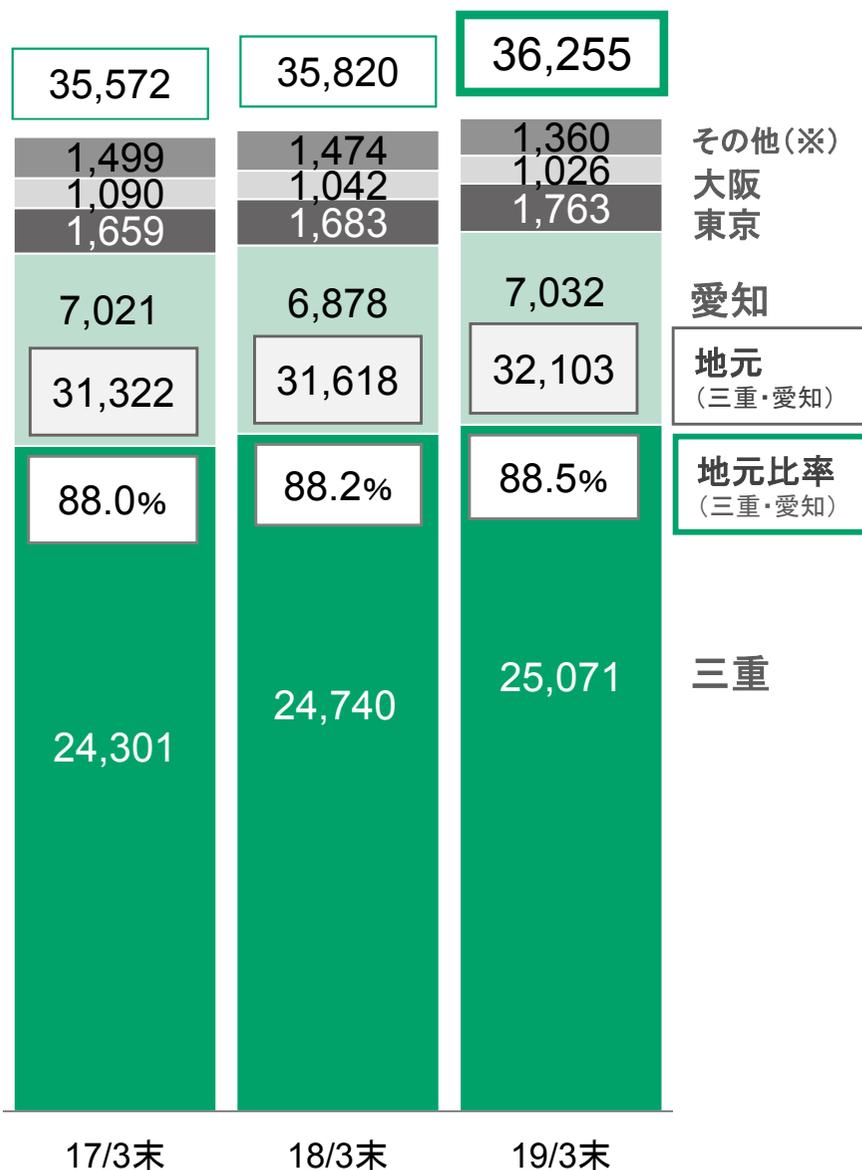
■ 第三銀行



預金等残高(地域別)

(億円)

■ 2行合算



預金等残高 **434億円増**

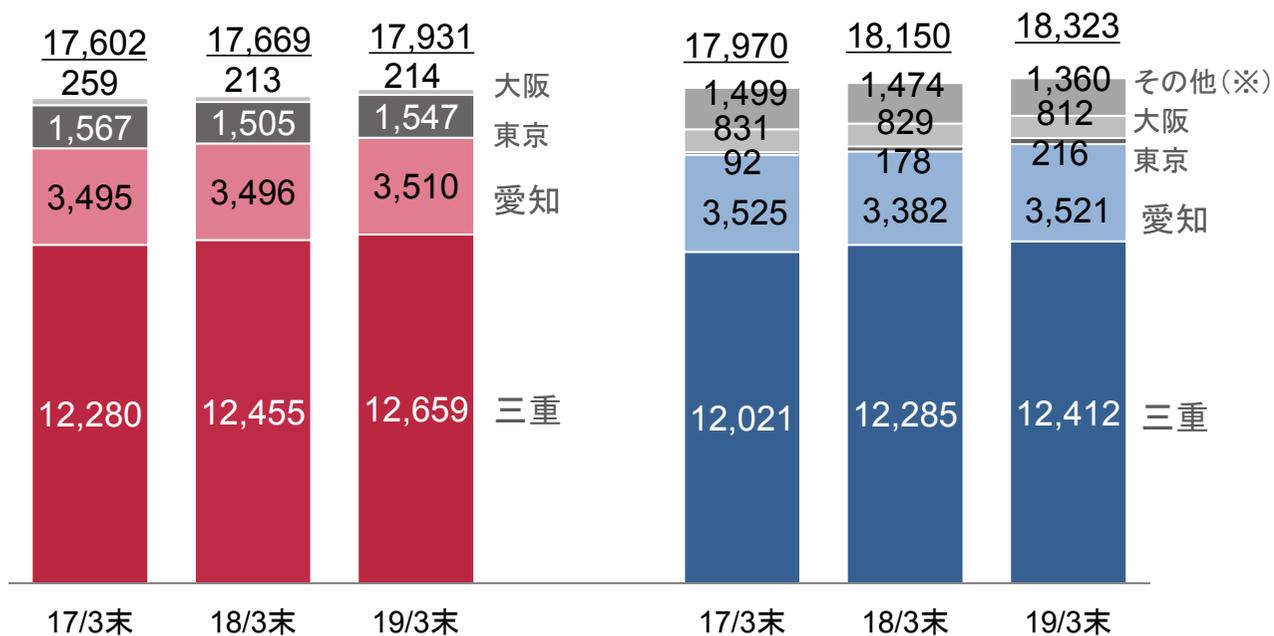
地元三重・愛知 **484億円増**

地元預金比率 **88.5%**
(2行合算)

(億円)

■ 三重銀行

■ 第三銀行

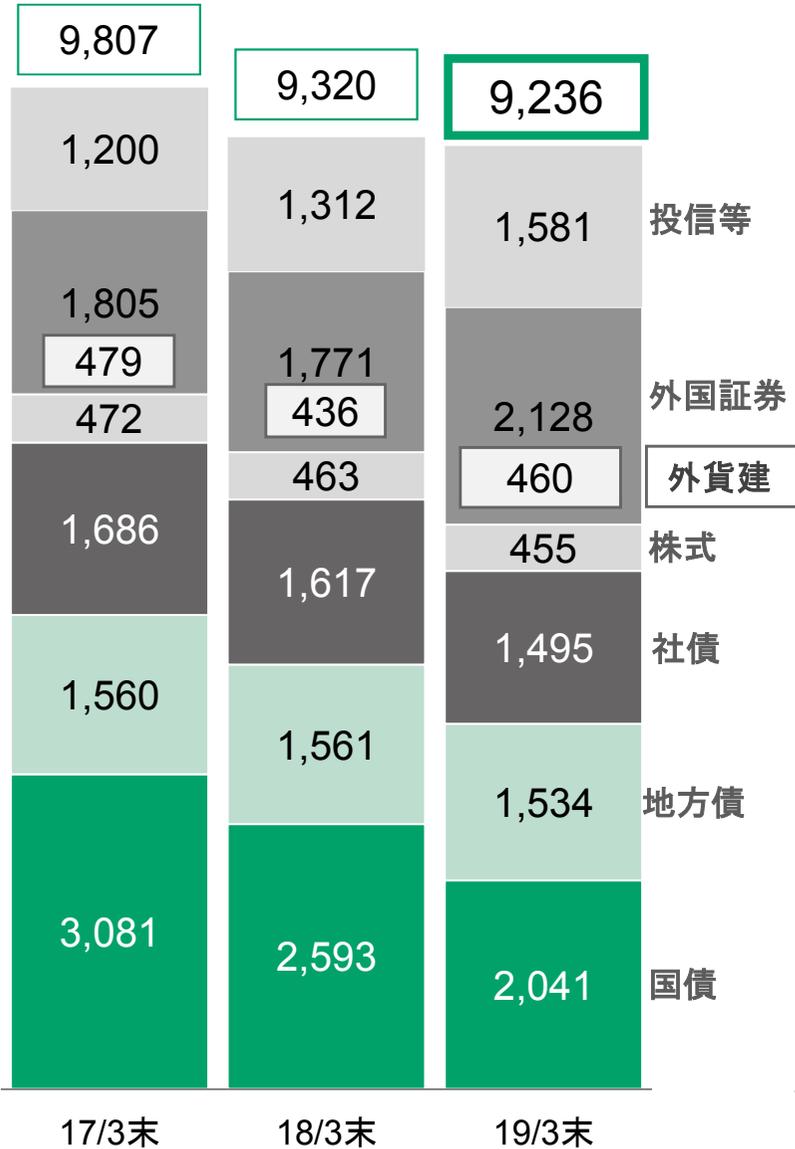


※その他は、岐阜県、奈良県、和歌山県を指しています。

有価証券残高

(億円) 時価評価前簿価(私募債を含む)

■ 2行合算



有価証券残高 84億円減

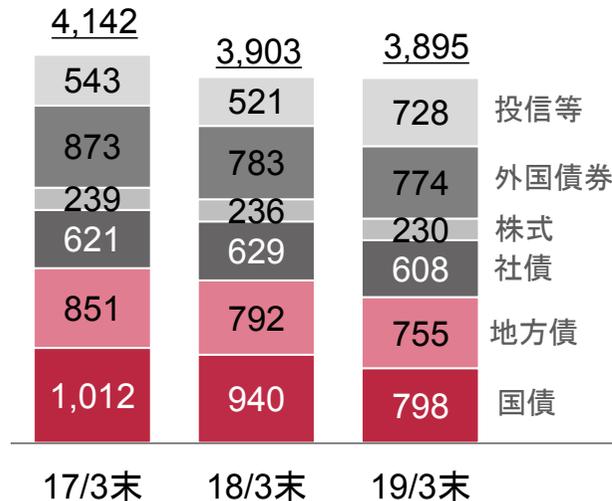
国債 552億円減

(2行合算)

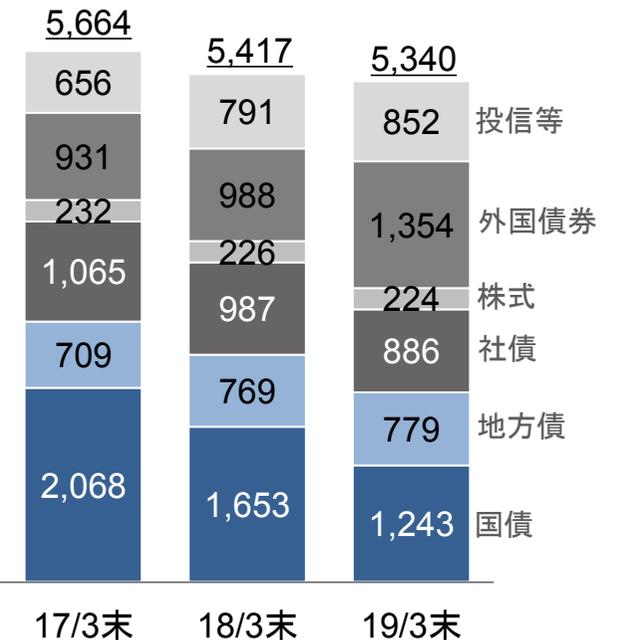
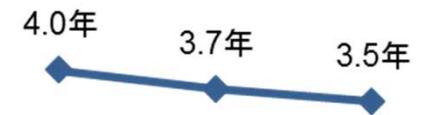
(億円)

■ 三重銀行

デュレーション



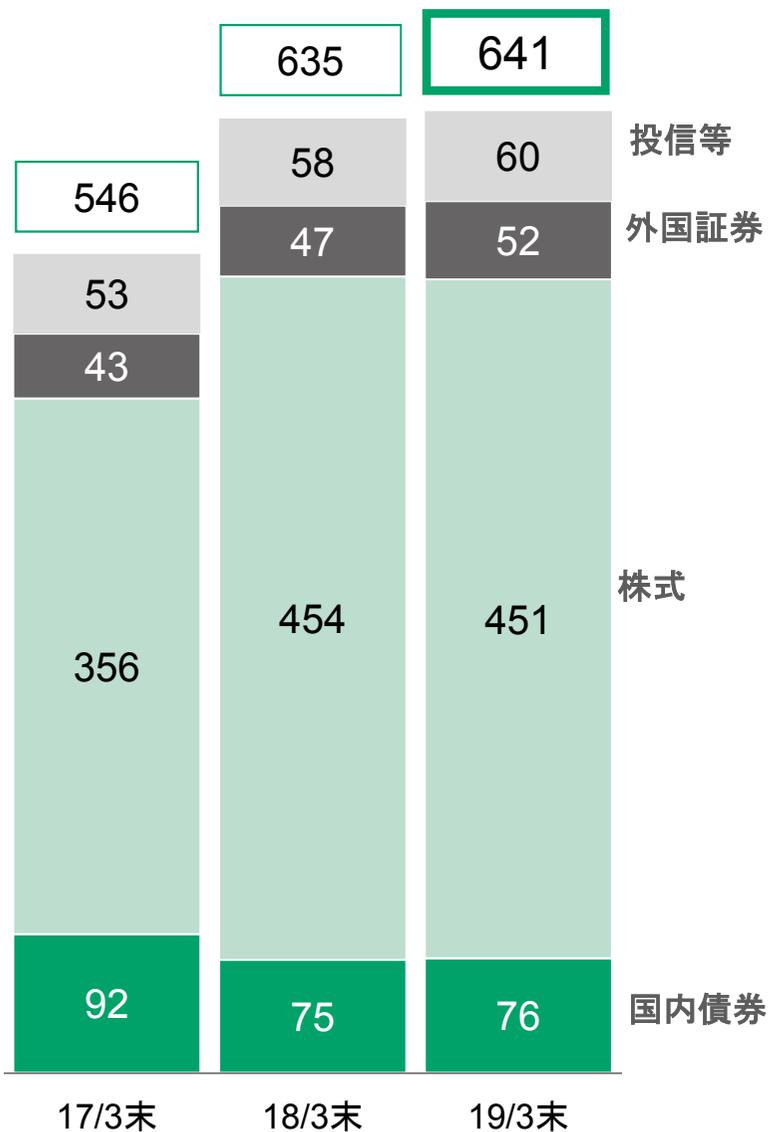
■ 第三銀行



有価証券評価損益

(億円)

■ 2行合算

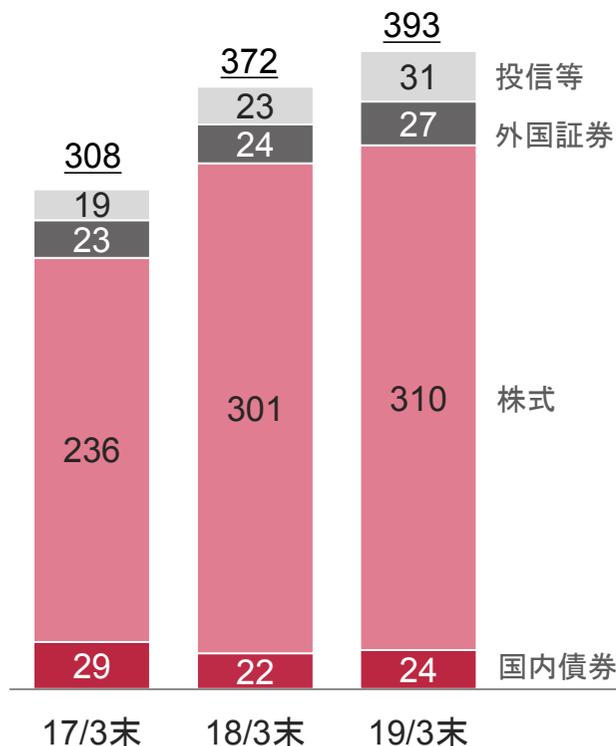


評価損益

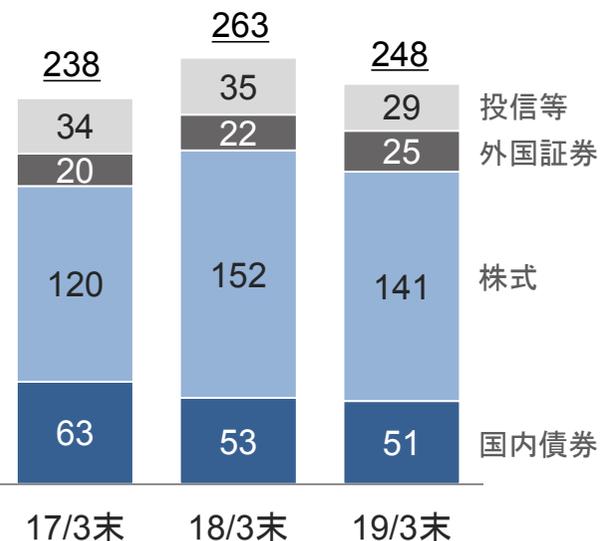
5億円増
(2行合算)

(億円)

■ 三重銀行



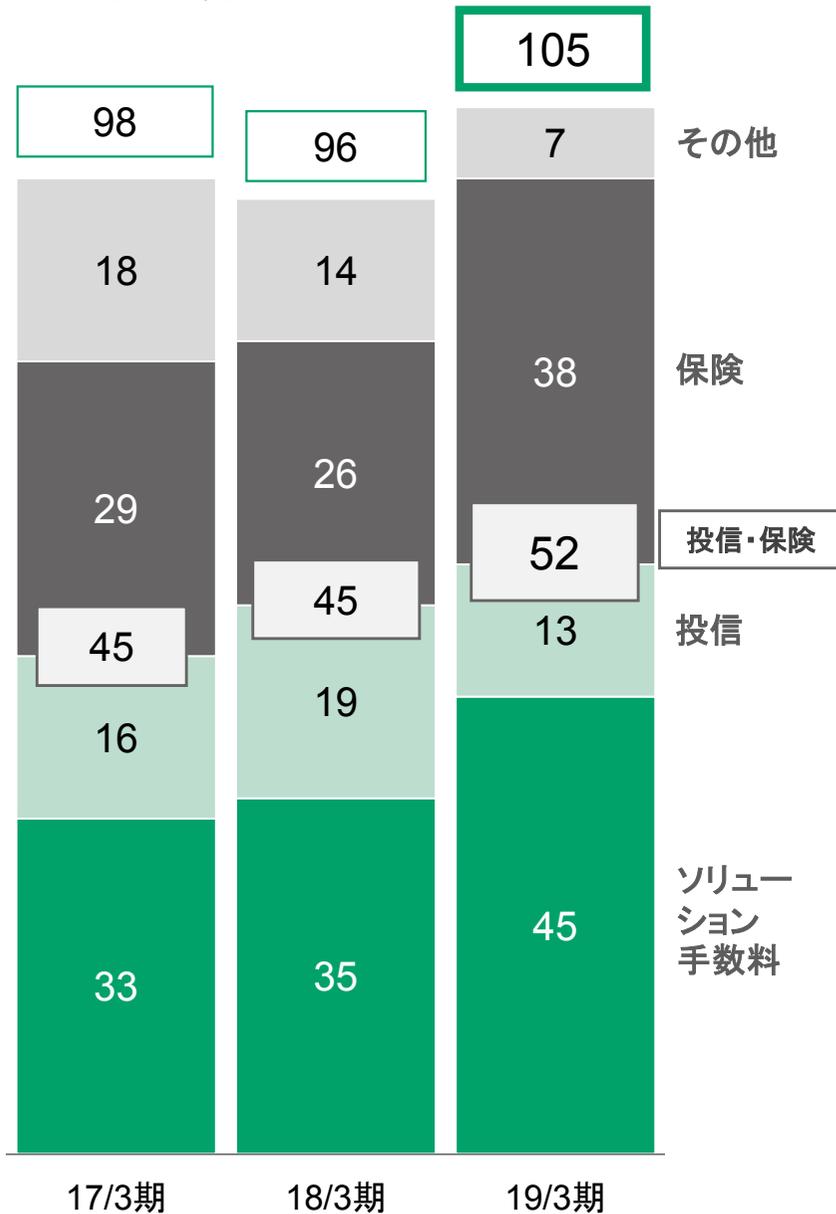
■ 第三銀行



非金利収益

(億円)

■ 2行合算



非金利収益

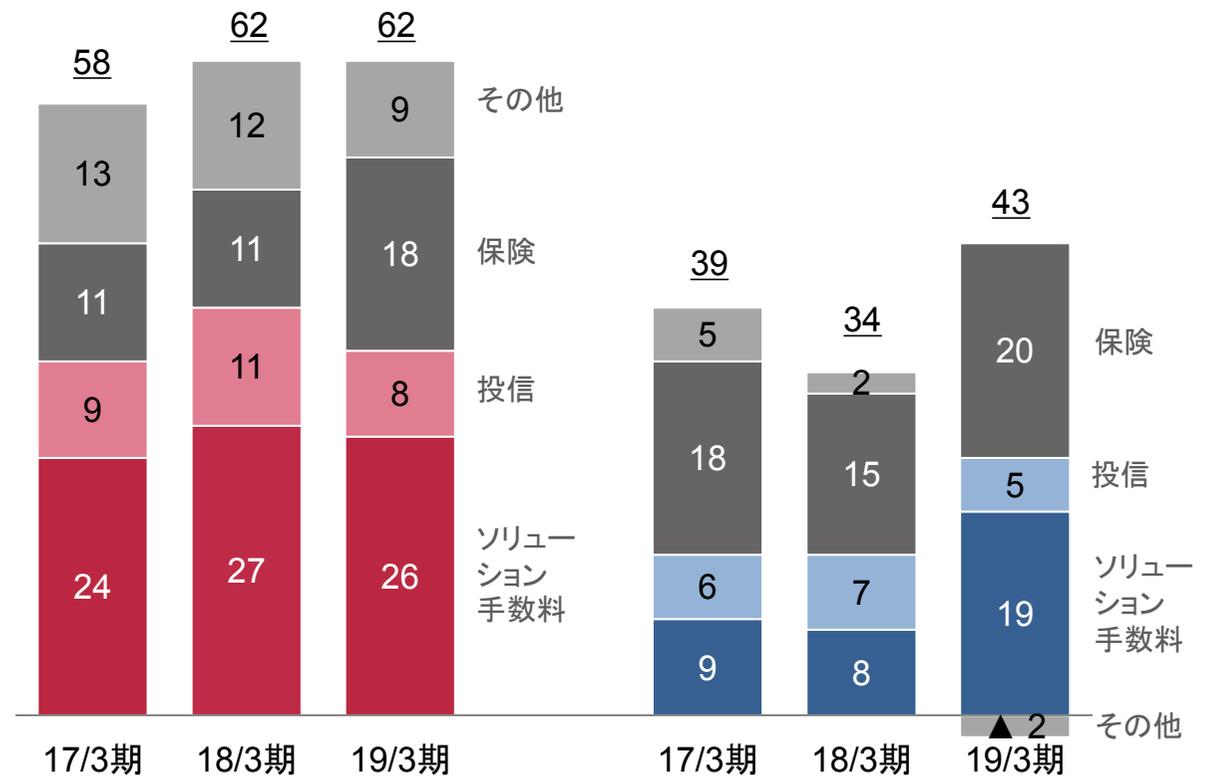
8.4億円増

(2行合算)

(億円)

■ 三重銀行

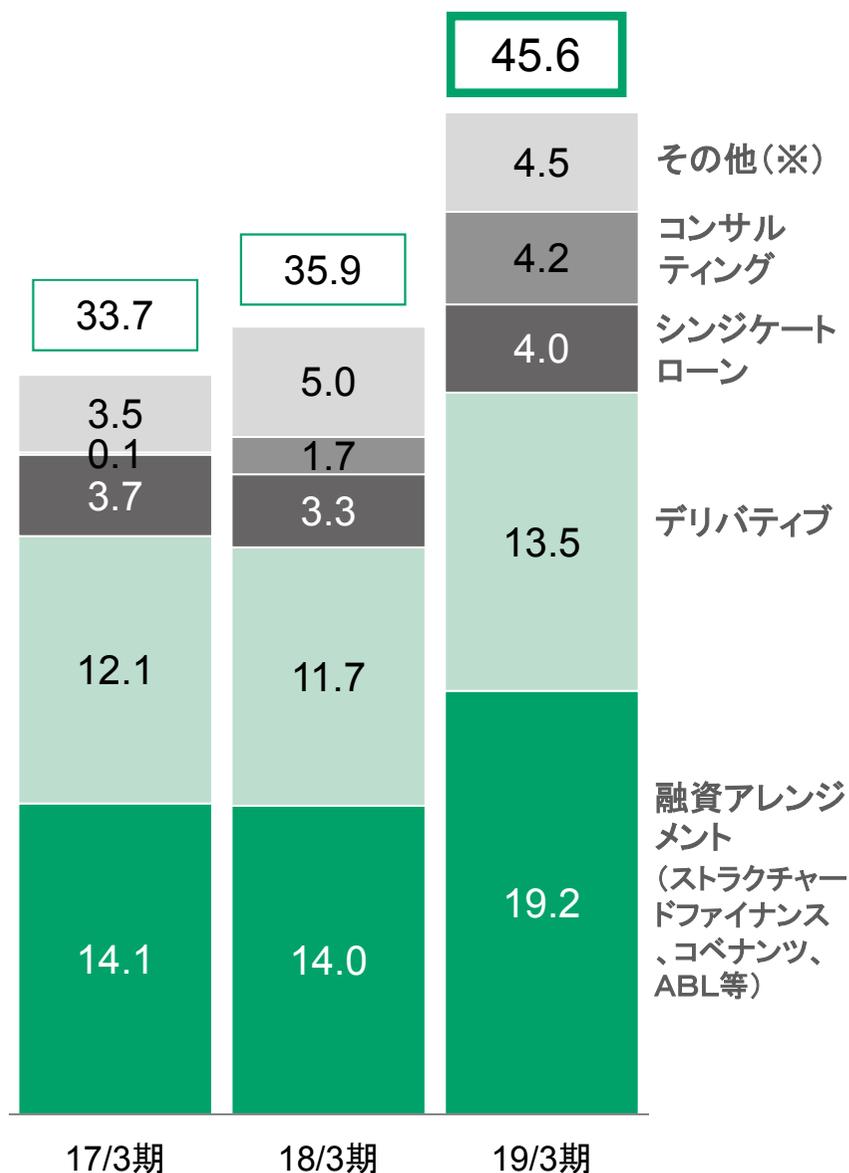
■ 第三銀行



ソリューション手数料

(億円)

■ 2行合算

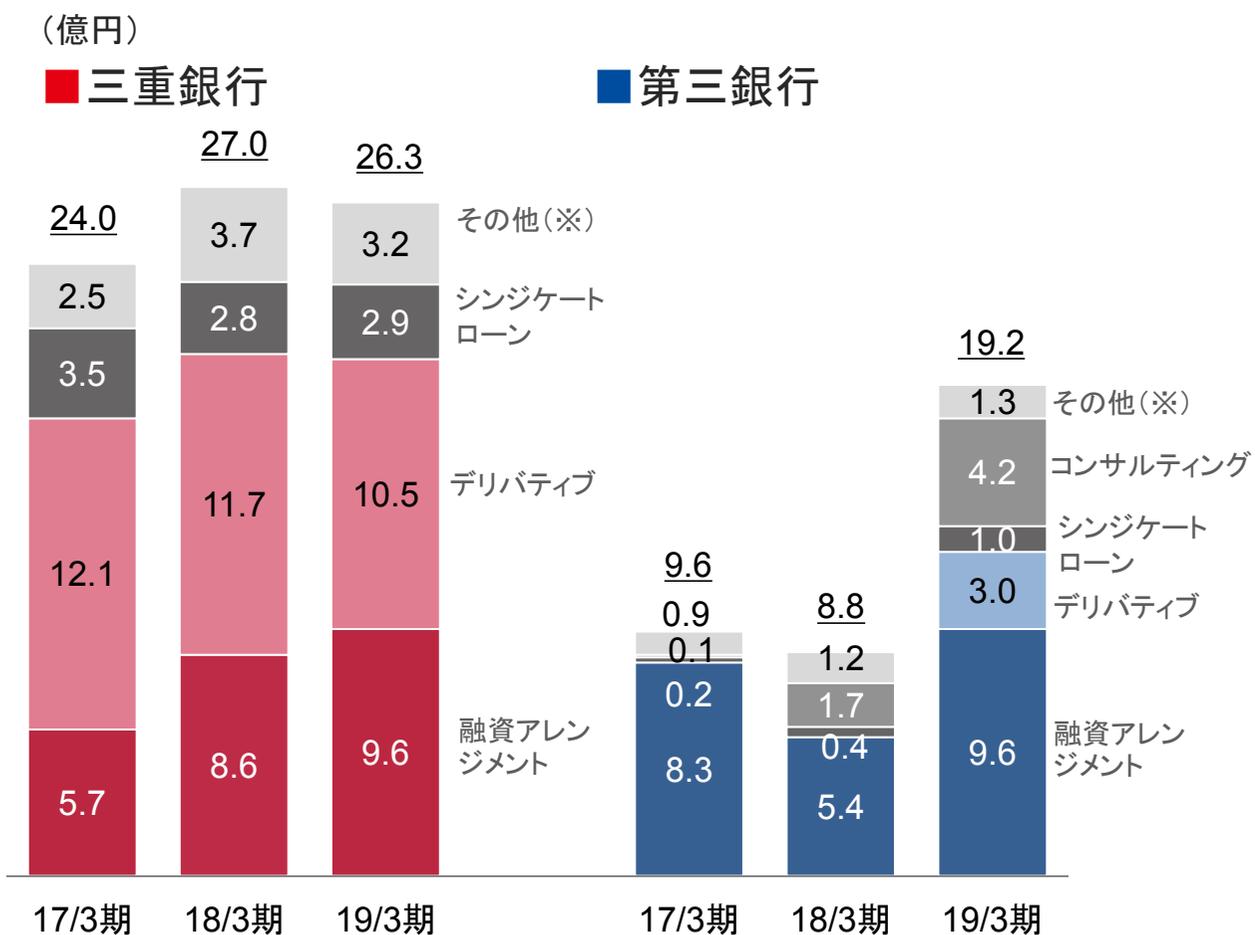


※その他:M&A、ビジネスマッチング、証券仲介等

ソリューション手数料

9.6億円増

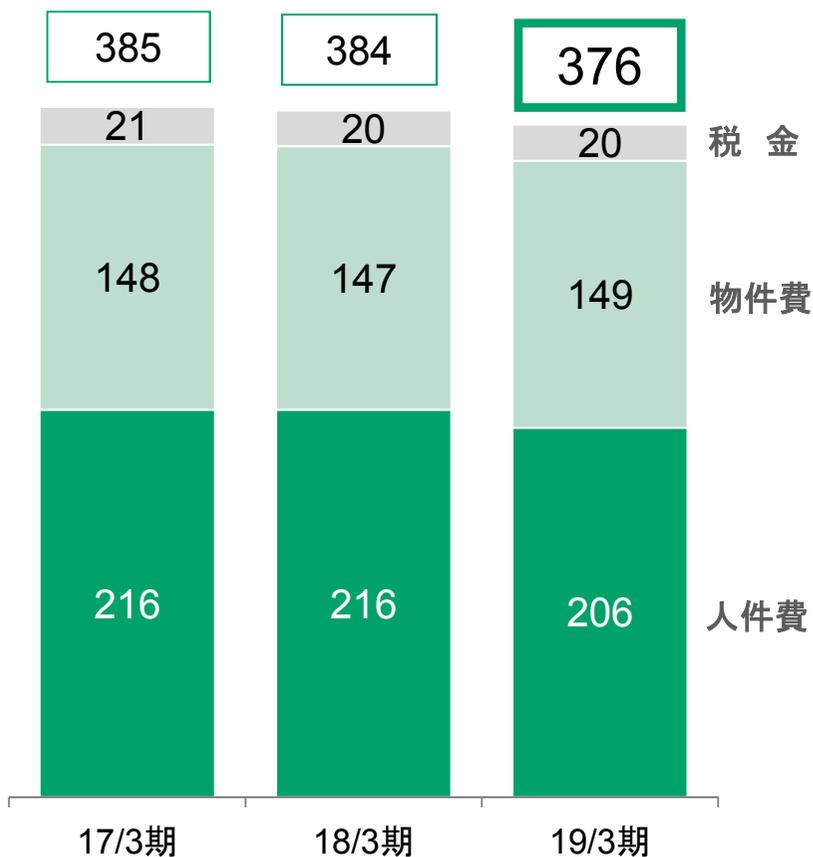
(2行合算)



経費

(億円)

■ 2行合算

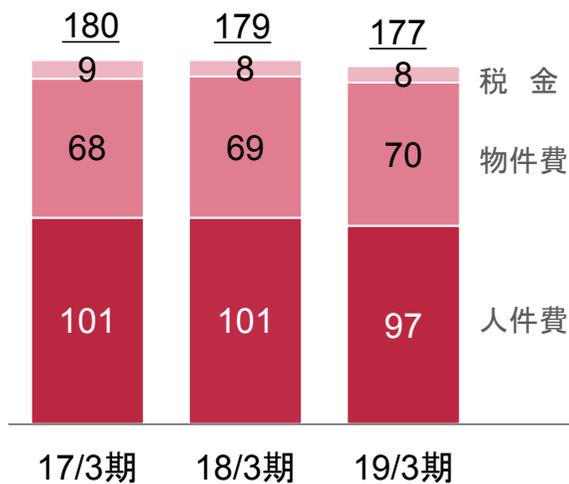
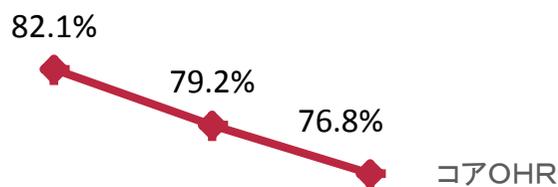


経費 **8億円減**

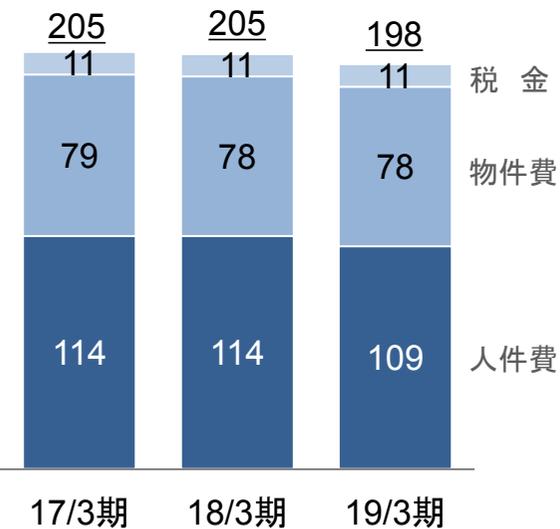
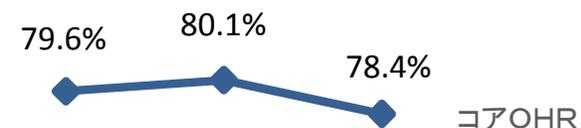
コアOHR **2.1%低下**
(2行合算)

(億円)

■ 三重銀行



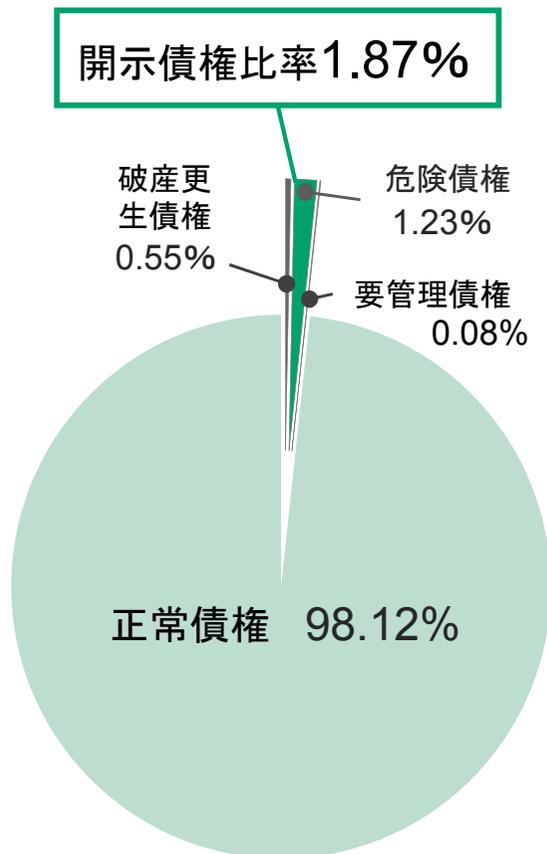
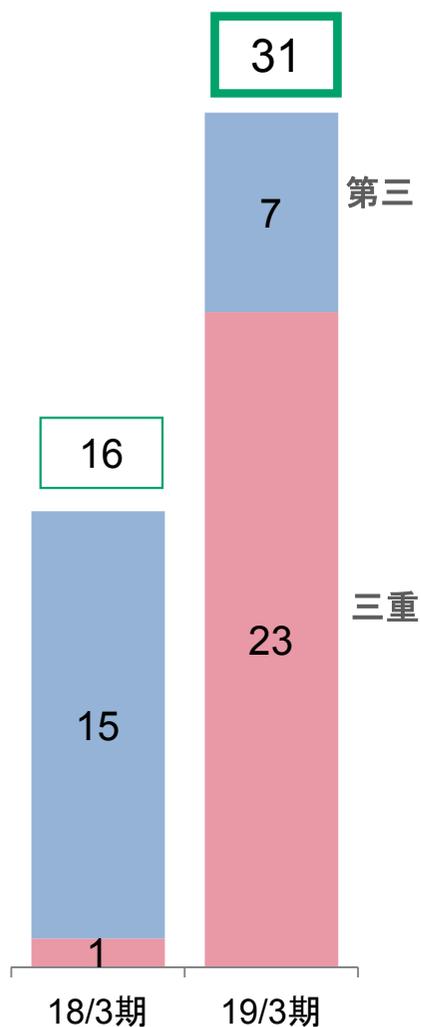
■ 第三銀行



信用コスト・金融再生法開示債権

■ 信用コスト
(2行合算)
(億円)

■ 金融再生法開示債権
(2行合算)

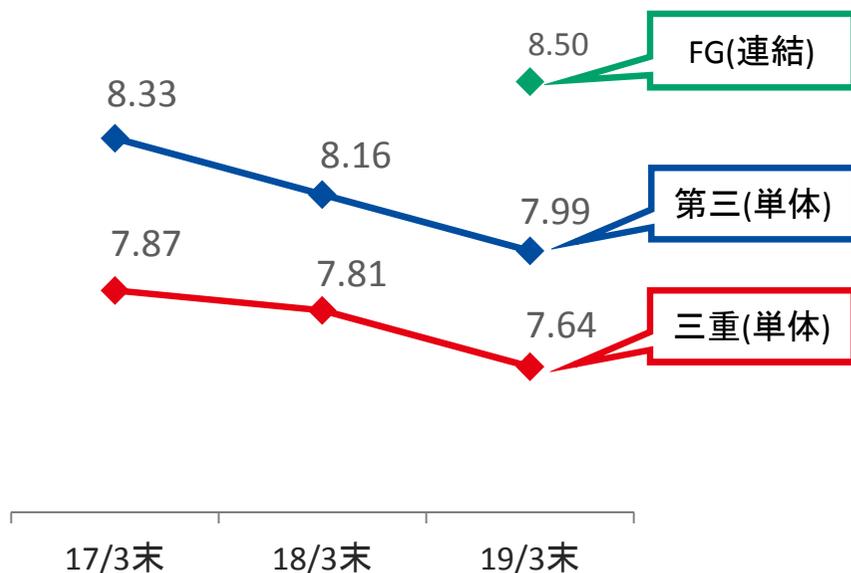


信用コスト **14億円増**
開示債権比率 **1.87%**
(2行合算)

	■ 2行合算 (億円)			■ 三重銀行			■ 第三銀行		
	18/3末	19/3末	前期末比	18/3末	19/3末	前期末比	18/3末	19/3末	前期末比
総与信残高	27,044	27,696	652	14,015	14,283	268	13,028	13,413	384
開示債権合計	534	520	△ 14	172	183	10	362	337	△ 25
開示債権比率	1.97%	1.87%	△0.10%	1.23%	1.28%	0.05%	2.78%	2.51%	△0.27%

自己資本比率・配当政策

■ 自己資本比率 (FG連結、子銀行単体)



FG連結 自己資本比率 8.50%

(億円)

	FG連結		三重銀行(単体)			第三銀行(単体)		
	19/3末	前期末比	18/3末	19/3末	前期末比	18/3末	19/3末	前期末比
自己資本の額	2,105	-	953	968	14	917	921	3
リスクアセット	24,744	-	12,211	12,674	463	11,236	11,520	283
自己資本比率	8.50%	-	7.81%	7.64%	△0.17%	8.16%	7.99%	△0.17%

■ 配当政策

株式のみなさまに対する利益還元を最重要施策の一つとして位置づけ、内部留保の充実による自己資本の向上と長期安定的な経営基盤の拡充を図りつつ、安定的な配当を継続します。

2020/3期 予想	年間	中間	期末
配当金 (普通株式)	72.00円	36.00円	36.00円

2020年3月計画

■ 2行合算

	(億円)					
	2020/3期 2行合算	前期比	三重	前期比	第三	前期比
コア業務粗利益	481	▲ 2	233	2	248	▲ 4
資金利益	365	▲ 13	167	▲ 0	198	▲ 12
非金利収益	116	10	65	3	50	7
経費 (▲)	389	13	186	9	203	4
(うち合併・システム関連コスト)	17	14	8	7	8	7
コア業務純益	92	▲ 16	46	▲ 7	45	▲ 9
(合併・システム関連コスト除き)	109	▲ 2	55	0	53	▲ 2
有価証券関係損益	22	▲ 0	9	▲ 11	13	10
国債等債券損益	0	▲ 5	0	▲ 0	0	▲ 5
株式等関係損益	22	4	9	▲ 11	13	15
与信費用 (▲)	10	▲ 21	2	▲ 21	8	0
経常利益	104	3	55	4	49	▲ 1
当期純利益	83	4	40	3	43	0

■ FG連結

	(億円)	
	2020/3期	前期比
経常利益	61	▲ 16
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	(※) ▲ 473

(※)前期は負ののれん発生益463億円あり

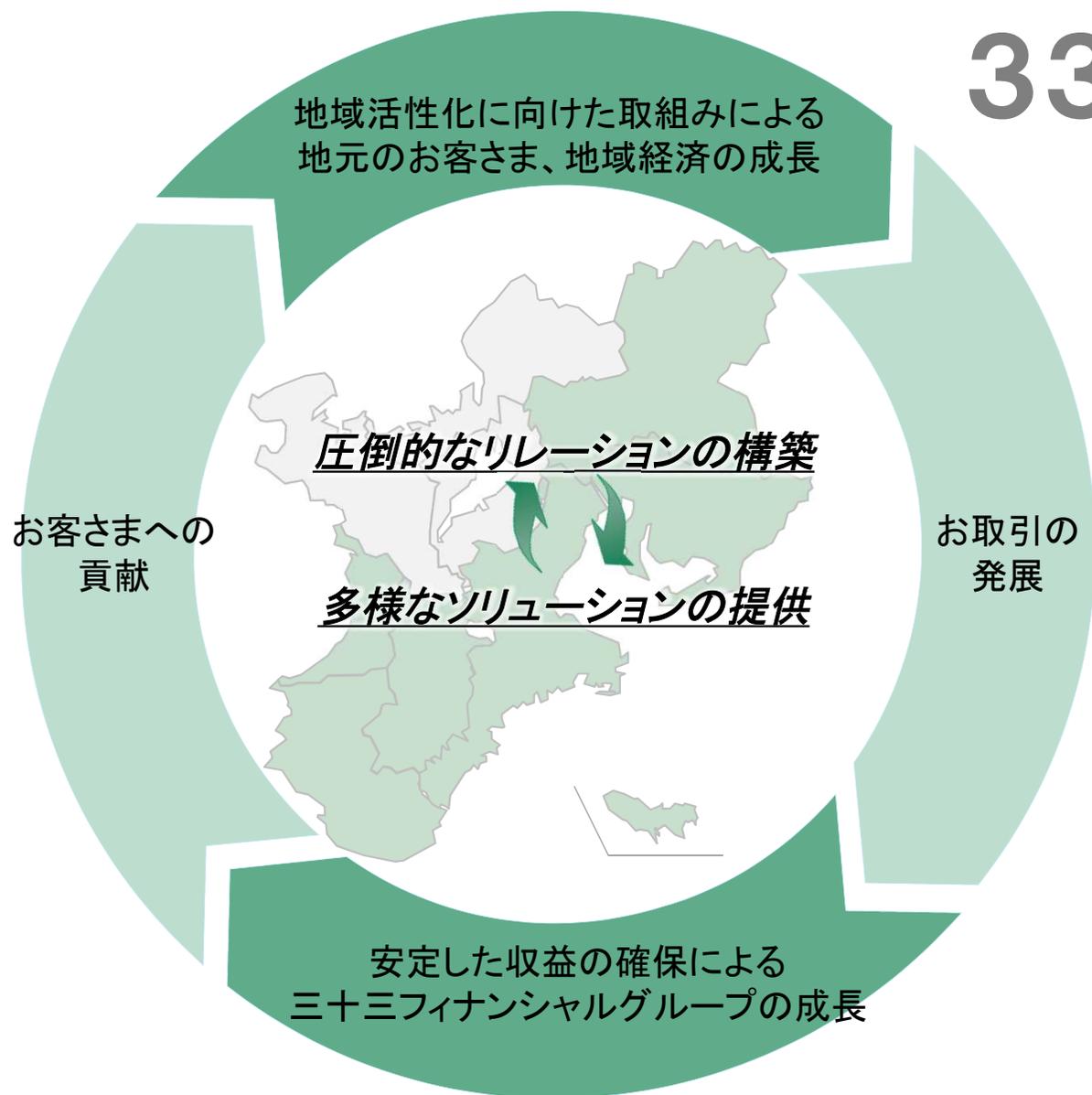
中計KPI

■ 当期純利益(2行合算)

2021/3期 85億円



Ⅲ 第1次中期経営計画の進捗について



33FGビジネスモデル

リレーシヨ & ソリューション

中期経営計画の概要

ビジョン

質の高い地域ナンバー1金融グループ

地域のお客さまと圧倒的なリレーションを構築し、お客さまの経営課題やニーズに対して多様なソリューションを提供することで地域に貢献する信頼度ナンバー1の金融グループを目指します。

第1次中期経営計画(2018年4月～2021年3月)

統合効果を早期実現・最大限発揮しつつ、強固な経営基盤を構築することで、質の高い地域金融グループを目指す期間

次期中期経営計画(2021年4月～2024年3月)

両行の強みを完全に融合させ、本格的な成果を実現し、更なる成長へ挑戦する期間
2021年5月合併予定

本中計のテーマ

統合効果の
早期実現・最大化



強固な経営基盤の構築

地域とともに成長し続ける

統合効果の早期実現・最大化
強固な経営基盤の構築

完全融合
本格的な成果実現
更なる挑戦

2018年4月～

2021年4月～

シナジー効果の早期実現

シナジー効果全体 2019/3期 シナジー効果3.8億円

	2019/3期 見込	2020/3期 計画	2021/3期中計 当初計画
シナジー効果合計(①+②)	3.8億円	13.2億円	4.6億円
① 収益シナジー	3.7億円	11.7億円	2.5億円
② コストシナジー	0.0億円	1.5億円	2.1億円
③ 合併・システム統合コスト(▲)	2.9億円	17.2億円	
全体合計(①+②-③)	0.9億円	▲4.0億円	

2019/3期の主な内容

収益シナジー

■ デリバティブの推進強化

第三銀行から三重銀行へトレーニー3名派遣
〈金利スワップ〉

第三銀行単独で販売を開始

〈クーポンスワップ〉

両行でビジネスマッチング契約を締結し、
第三銀行から顧客紹介することで販売

収益寄与額
約300百万円

収益寄与額 約65百万円

■ 市場運用ノウハウの共有

三重銀行において、株式オプション取引を開始

■ 融資ノウハウの共有

三重銀行において、「CSR私募債」の販売を開始

収益寄与額 約60百万円

合併費用

■ コンサル、システム統合費用

合併全体、システム、人事等のコンサル費用、
システム統合に向けた予備検討費用

コスト増
約290百万円

コストシナジー

■ 統合に伴う一元化

株式関係費用、広報物、役員保険等を一元化

収益寄与額 約45百万円

リレーションの構築

法人のお客さま

■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

取組施策

■ 事業性評価シートの活用

・経営課題やニーズを把握し本部も共有

	(件)		
	19/3 実績	当初 計画比	20/3 計画
事業性評価シート 活用件数	2,208	+1,358	900

中計KPI

■ 地元(三重・愛知)事業性貸出先数

	18/3 実績	19/3 実績	(先)		
			当初 計画比	20/3 計画	21/3 計画 (3年累計)
地元事業性 貸出先数(年増)	+162	+224	▲ 136	+410	+1,100

■ 三重県中南部地域活性化推進プロジェクト

・三重県中南部地域の事業先に対する本業支援の取組み

個人のお客さま

取組施策

■ スマホ決済サービスの拡充

・「J-Coin Pay」、「メルペイ」との連携を開始

〈連携実績〉



■ セミナーの共同開催

・「落語で学ぶ相続・遺言・後見」

セミナーを共同で開催



ソリューションの提供～法人戦略①～

創業期

■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

取組施策

■「33FGビジネスプランコンテスト」の開催

- ・2011年より継続開催(2011、2012年は三重県主催)
- ・2013年より三重銀行・三重銀総研(現三十三総研)主催、受賞者には1年間のコンサルティング支援を実施
- ・2018年度からは33FGで開催

(2013～2017年度の受賞者)

受賞	うち 創業・新規事業開始	うち 事業継続(2019年5月時点)
33件	27件	23件

具体例①

「三重県国産ごま栽培プロジェクト」

- ・地元ごまメーカー等と連携し、ごまの生産量を鹿児島県に次ぐ全国2位の規模に拡大(プラン開始前の約17倍)

具体例②

「脊髄損傷者のためのリハビリテーション施設開設支援」

- ・名古屋市での訪問介護施設の開業を支援
- ・利用者は順調に増加

中計KPI

■創業ファイナンス支援先数

(件)

	18/3 実績	19/3 実績	当初 計画比	20/3 計画	21/3 計画 (3年累計)
創業ファイナンス 支援先数	211	425	+75	370	1,120

ソリューションの提供～法人戦略②～

成長・安定期、再生・転換期

■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

取組施策

■ ビジネスマッチングの共同開催

- ・仕入先拡大ニーズに合致する事業者を募集、面談セットを行う一括マッチング商談会を実施

■ 本部組織改正によるコンサルティング機能の強化

〈三重〉

- ・コンサルティング営業部の新設、ソリューション営業部の格上げ (2019/4)

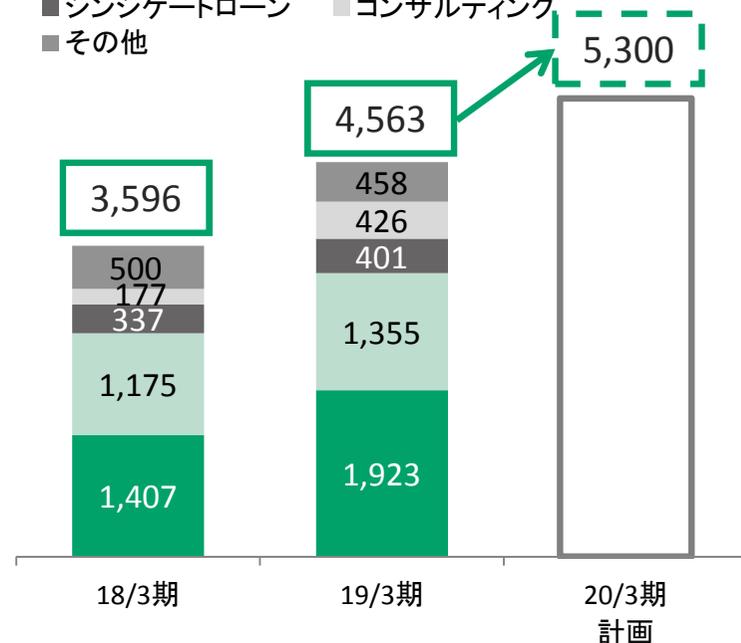
〈第三〉

- ・デリバティブチーム(2018/4)、法人ビジネスサポートチーム(2019/4)の新設

<ソリューション手数料>

■ 融資アレンジメント ■ 法人向けデリバ
■ シンジケートローン ■ コンサルティング
■ その他

(百万円)



中計KPI

■ ビジネスマッチング対応件数 (件)

	18/3実績	19/3実績	当初計画比	20/3計画	21/3計画 (3年累計)
ビジネスマッチング対応件数	1343	1,841	+641	1,400	4,200

■ 事業承継支援件数 (件)

	18/3実績	19/3実績	当初計画比	20/3計画	21/3計画 (3年累計)
事業承継支援件数	251	544	+144	450	1,200

ソリューションの提供～個人戦略～

取組施策

■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

■コンサルティングセールスの強化(2019/4～)

〈三重〉

- ・保険会社からの出向者を2名増員、
証券会社からの出向者を2名新規受入れ

〈第三〉

- ・保険会社からの出向者を2名、
証券会社からの出向者を1名新規受入れ

■SBIマネープラザ津の営業開始(2019/4～)

- ・リスク志向の高い個人投資家等を対象とした対面型の専門的な金融コンサルティング・サービスを提供

■ライフコンサルタントによる相談業務(2018/4～)

- ・4カ所のローンプラザで保険を中心とした相談業務を展開
(松阪、四日市、津、桑名)

■共同商品の取扱

- ・遺言代用信託「託す想い」の取扱開始(2018/7～)

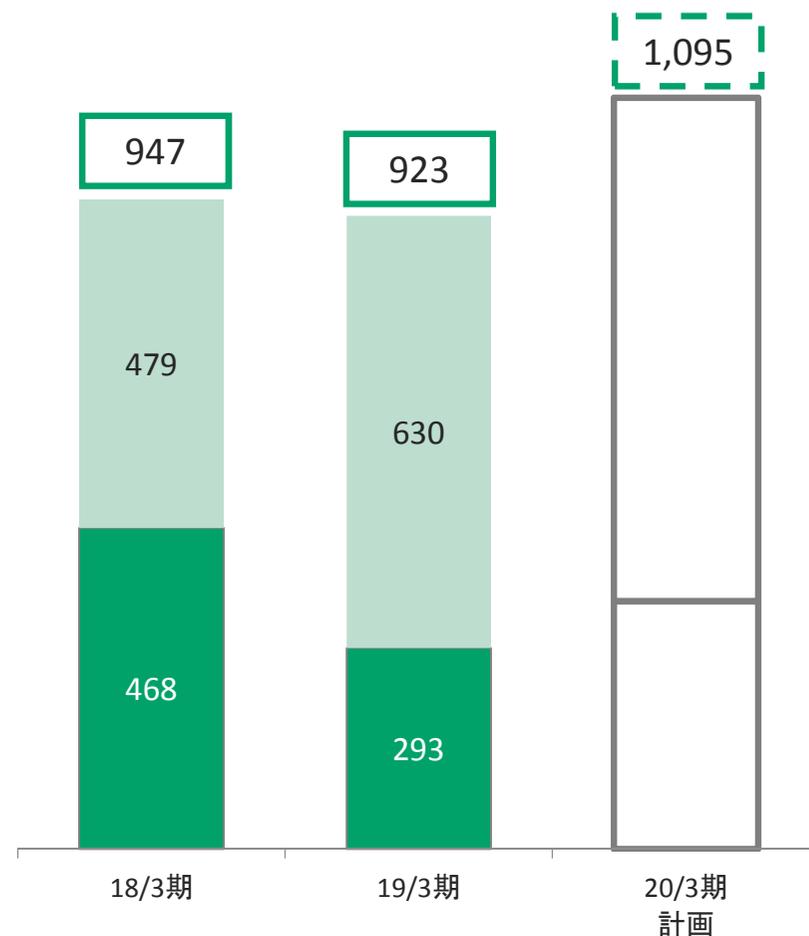
■リバースモーゲージの取扱開始

- ・シニア向け資金ニーズに対応

＜投信・保険販売額＞

■ 保険 ■ 投信

(百万円)



効率化・最適化

取組施策

■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

■ 共同店舗の実施(2019/5)

- ・両行の東京支店を移転
- ・グループとして初めての共同店舗による営業を開始



■ グループ内における共同化の推進

- ・三重県中南勢、大阪方面の遞送便を共同運行(2018/9～)
- ・手形交換(津、四日市、大阪)の相互事務代行(2018/9～)
- ・両行の伝票類保管業務を一部共同化(2018/12～)
- ・両行の手形小切手発行業務を共同化(2019/3～)

■ シンクタンク部門の統合(2019/4)

- ・第三銀行の本部組織である「経済研究所」を「三十三総研」に統合

■ 窓口営業時間の変更

- ・三重銀行3カ店、第三銀行2カ店で昼時間帯の窓口営業を休止

■ ブランチ・イン・ブランチ店舗の開始

- ・伊賀新堂支店、佐那具支店(2019/4～)
- ・長太支店、楠支店(2019/11～)

地方創生・地域活性化

取組施策

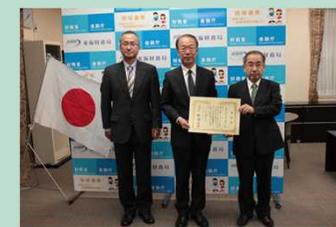
■・・・FG、2行の取組み、■・・・三重銀行の取組み、■・・・第三銀行の取組み

■「ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯の山」の開催

- ・2017年11月 一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構と金融機関として全国初の提携
- ・2018年9月 開湯1300年を迎えた「湯の山温泉」にて「めぐる」「たべる」「つかる」をテーマに約7キロのウォーキングイベントを三重県内で初めて開催。

＜地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として表彰＞

三十三フィナンシャルグループの先進的なガストロノミーコンテンツや観光商品の企画等の取組みが、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局より“金融機関の特徴的な取組事例”として表彰されました。



■鈴鹿市、吉本興業株式会社との包括連携協定の締結

- ・2018年12月 鈴鹿市の魅力の創造と発信を目的に連携協定を締結
- ・鈴鹿市のポテンシャル、吉本興業の発信力を活かした新たな名産品開発や観光客誘致などに当グループも貢献





三十三フィナンシャルグループ



三重銀行



第三銀行